

先生の名前

本の題名      ハヤブサ消防団

企業系の難しい小説が多い池井戸潤が、自分の故郷である岐阜県の小さな集落を題材にして書いたミステリー小説。小さな村に連続して発生する火災事故。その裏には新興宗教の影。読んでいるうちに誰が敵で誰が味方が分からなくなり、気づけば最後まで読み切ってしまうこと間違いなし。最後は爽快に終わります。ほかにお勧めは「アキラとあきら」「銀行総務特命」など

